

2026年8.9月号

せせらぎ No. 520



編集・発行

福岡市管工事協同組合
広報・企画・情報委員会

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目20-10

TEL 092-531-3066 FAX 092-522-5287

メール(総務) fukukankyoku@fuku-kan.com

URL <https://www.fuku-kan.com>

目次

1. 今月の心がけ…心を整える時間を大切にしましょう……………	1
2. 理事会報告…8/26 定例 ……………	2
3. 令和8年熊本地震 災害支援出陣式 ……………	3
4. mirai@の採択式……………	4
5. 令和8年熊本地震 災害義援金贈呈式……………	5
6. 青年部会だより…活動報告……………	6
7. 業務コーナー	
NO. I 令和8年度(後期)技能検定受検案内について……………	7
8. シリーズ 「命の水を求めて」……………	8
9. 交通安全コーナー…贖いの日々(未必の故意)……………	12
10. 組合のうごき……………	13

組合ホームページで、福管ニュース「せせらぎ」が閲覧できます。

位置

北緯 33°25'17" ~ 33°52'17"
東経 130°02'06" ~ 130°29'50"

東京(約900キロ)、大阪(約500キロ)よりも韓国・釜山(約200キロ)の方が近いという、この地理的条件から古来より大陸への玄関口としての役割を担ってきました。

面積

343.39km²

明治22年の市制施行時の面積は5.09km²。100年で約66倍に広がったこととなります。

人口

1,671,893人

男/788,088人 女/883,805人

894,374世帯

(令和8年7月1日現在推計)

福岡はこんな街

福岡市ミニデータ



■福岡市章

現在の福岡市章は、明治42年10月に制定されました。かたかなの「フ」を9個組み合わせて「福」を表しています。

●福岡市の4つの都市像

福岡市は、まちづくりの目標として次の4つの都市像を掲げました。強い意志とたゆまぬ努力をもって、この都市像の実現をめざします。

1. 自律し優しさを共有する市民の都市
2. 自然を生かす快適な生活の都市
3. 海と歴史を抱いた文化の都市
4. 活力あるアジアの拠点都市

今月の心がけ

心を整える時間を大切にしましょう

一呼吸が広げる視野

連日の暑さと多忙な業務の中で、Aさんは次第に心の余裕を失い、目の前の事に追われる状態が続いていました。

そんなある日、ふと手を止めて一呼吸の間をつくり、窓の外に目を向けました。すると、小さな蟻が一生懸命歩いていました。その姿をしばらく眺めているうちに、張り詰めていた気持ちが少しずつ静かにほぐれていったのです。

やがて心に落ち着きが戻ると、それまで見えていなかった周囲の様子にも自然と目が向くようになりました。忙しく働く仲間の姿に気づき、自分が余裕を失っていたことも改めて自覚したのでした。

この経験からAさんは、ほんのわずかな間が心にゆとりを生み、視野を広げてくれるのだと実感しました。そして、心を整えることで冷静さが生まれ、周囲への配慮や落ち着いた判断、より丁寧な仕事へとつながっていきました。

このように、小さな変化に気づく感性和間を大切にしながら、落ち着いた気持ちで、一つひとつの仕事に丁寧に向き合っていきたいものです。

第11回 定例理事会議事録

日 時 : 令和8年8月26日(木) 午後13時30分
場 所 : 福岡市管工事協同組合会議室
出席者 : 藤、松尾、岩下、大久保、川浪、松本、宮崎、江頭
委任 : 八木、小金丸

定刻に至り、事務局より本日の出欠状況を報告、藤理事長、挨拶後議長に就任し議案の審議に入った。

【協議事項】

第1号議案 排水申請に関して

事務局－ 排水設備審査業務委託を下水道局から受託し、業務内容(受付窓口時間の変更等)を説明した。指定工事店に対し周知徹底することを申し合わせた。

【報告事項】

1.ガイドブックについて

事務局－ 完成した旨報告。販売を開始する。

2.魔法の絨毯プロジェクト

事務局－ NTTと組合の共同研究
漏水箇所の特定技術が福岡市のmirai@事業に採択された。

3.災害派遣について

事務局－ 8月6日から8月31日まで、(株)トキワ設備2班、(株)水設・(有)八木工業・(株)リバーテック各1班に災害対応をしていただいた旨報告

4.義援金贈呈について

事務局－ 組合員1社1万円、計128万円の義援金を福岡市経由で贈呈した。

5.県連から全管連へ義援金について

事務局－ 福岡県管工事業協同組合連合会から全管連経由で熊本に100万円義援金を贈呈した。

引き続き、組合のうごき、今後の予定を説明
本日の全ての案件を終了した。時に午後14時20分。

令和8年熊本地震 災害支援出陣式

令和8年8月6日 令和8年熊本地震の災害支援出陣式が行われました。

第一陣として(株)トキワ設備7名が、11日までの災害支援に出陣し、第二陣に(株)トキワ設備
第三陣に(株)水設、第四陣に(有)八木工業、第五陣に(株)リバーテック 以上が31日まで
災害支援に尽力いたしました。



mirai@の採択式が開催

令和8年8月18日 福岡市本庁でmirai@採択式が開催され、藤理事長が出席しました。
福岡市・NTT株式会社・福岡市管工事協同組合の三社共同研究で
光ファイバセンシング技術を活用した漏水箇所の特定について、正式に採択されました。



令和8年熊本地震 災害義援金贈呈式

令和8年8月27日 福岡市役所で、令和8年熊本地震 災害義援金贈呈式が開催されました。
組合1社あたり1万円、合計128万円を義援金として贈呈いたしました。
藤理事長、松尾副理事長、岩下副理事長、大久保総務部長理事、松本上水道部長理事
川浪事業部長理事が、参加いたしました。





全国管工事業協同組合連合会青年部協議会

第30回通常総会が開催

令和8年8月8日(土)東京都新宿区「京王プラザホテル」にて第30回通常総会及び創立30周年記念式典が開催され、藤岡会長・毛利副会長・田井副会長・今泉役員・山崎役員5名で参加した。



2026年度他都市交流会が開催

令和8年7月11日(土)広島市にて2026年度他都市交流会が開催され、藤岡会長、毛利副会長が出席した。

原爆慰霊碑への献花、原爆資料館見学、懇親会が行われた。



令和8年度後期

技能検定受検案内

受付手続き

受付期間

令和8年10月5日(月)～令和8年10月16日(金) ※消印有効

★福岡県職業能力開発協会及び公共職業能力開発施設(28ページ)の窓口での受付は行いません。
郵送(レターパック、簡易書留等)により福岡県職業能力開発協会あてにご提出ください。

提出するもの

受検申請書

本人確認書類

受検手数料の納付が確認できる書類

※銀行等の出納印が押印された領収書、ネットバンキングの決済画面を印刷したもの等

実技試験又は学科試験の免除証明書類

※実技試験又は学科試験の免除を受ける場合のみ。

一括受検申請者名簿(P27様式)

※企業や団体等で2名以上の受検手数料を一括で納付する場合のみ。

提出先

福岡県職業能力開発協会

〒813-0044

福岡県福岡市東区千早5丁目3-1

福岡人材開発センター2階

TEL 092 (671) 1238

FAX 092 (671) 1354

令和8年度後期技能検定実施日程

実技試験

実施
期
間

令和8年12月4日(金)
～令和9年2月14日(日)

■上記期間内の指定する日

(6～8ページ参照)

日時、場所等は決定次第、受検票にて通知します。

問題
公表

令和8年11月27日(金)

当協会事務所にて公表します。
(閲覧のみ)。また受検者には日程
等が決まり次第、受検票とともに
送付します。ただし、全国統一実
施の職種(作業)については、実技
試験問題概要を送付します。

学科試験

令和9年1月24日(日)
令和9年1月31日(日)
令和9年2月 3日(水)
令和9年2月 7日(日)

■6～8ページの指定された日

日時、場所等は決定次第、受検票にて
通知します。

合格発表

令和9年3月12日(金)

■合否の結果は郵送で通知します。

■合格発表に関する電話での問い合わせ
には一切応じかねますので予めご了承
ください。

■福岡県のホームページ
(<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/>)
で合格者の受検番号が確認できます。

シリーズ

命の水を求めて

第8回 すべての道はローマに通ず
—塩野七生 古代文明の水道—

(株)日本設備工業新聞社代表取締役社長 高倉克也

本会は、これまで水に関する内容を本誌「全管連ジャーナル」で紹介してきました。また、広く会員や関係団体から寄稿を頂き、その内容を周知しています。この度、本会からの依頼により、日本設備工業新聞社の高倉社長より「命の水を求めて」と題し、映画や本、アート等で水に係わる内容について寄稿を頂きましたので紹介いたします（全管連）。

イタリア半島にある小さな都市国家ローマは古代から中世にかけて史上最大のローマ帝国を樹立する。ヨーロッパ、北アフリカ、中東に至る広大な地域を支配し、地中海をローマの海と化して地中海世界に君臨した。領土拡大に伴い街道、橋梁、水道などのインフラを整備し、政治的・経済的・文化的な繁栄を謳歌する。

ローマ帝国におけるインフラ整備の歴史を物語として再現したのが塩野七生の渾身の力作『すべての道はローマに通ずローマ人の物語X』だ。同書は『ローマ人の物語』のインフラ編として発行され、シリーズ最高傑作と評された。

『ローマ人の物語』は新潮社で1992年から年に1冊ずつ刊行され、2006年に15作で完結した。新潮文庫で全43冊が新編・再刊され、いずれもベストセラーになっている。塩野は第X巻の執筆

に際して古代ローマの隆盛を支えたのは精巧なインフラ整備であるという視点から日本のインフラ専門家にも取材している。



新潮社『すべての道はローマに通ず』

人間らしい生活のためのインフラ

作者の塩野七生（しおの ななみ）は1937年、東京市滝野川区、現在の東京都北区で生まれた。名前の七生は7月7日生まれに由来する。都立日比谷高校では作家の庄司薫や古井由吉が同級生だった。学習院大学文学部哲学科を卒業後、イタリアに遊学。帰国後『ルネサンスの女たち』を中央公論に発表し、作家デビューする。

初の書下ろし長編『チェーザレ・ボルジアあるいは優雅なる冷酷』で1970年、



塩野七生

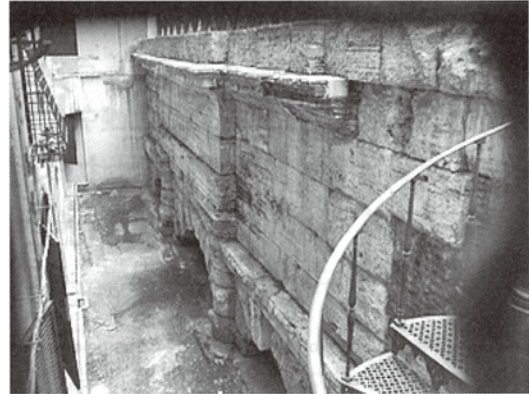
毎日出版文化賞を受賞。同年からふたたびイタリアへ移り住み、ローマ名誉市民としてイタリア永住権を取得する。

『ローマ人の物語』に続いて2017

年に『ギリシア人の物語』シリーズを完結させた。

『すべての道はローマに通ず ローマ人の物語X』は「ハードなインフラ」と「ソフトなインフラ」の二部構成となっている。第一部では街道、橋、水道、第二部では医療と教育を取り上げた。塩野は「はじめに」でインフラに対する並々ならぬ想いを吐露している。「全十五巻を予定している『ローマ人の物語』中の一巻を、ローマ人が築きあげたインフラ・ストラクチャーのみに捧げたいという思いは、第一巻の『ローマは一日にして成らず』を書いていた当時から私の頭の中にあった。そしてその巻のタイトルも、『すべての道はローマに通ず』にすると決めていた。社会資本と訳そうが下部構造と訳そうが、インフラ・ストラクチャーくらい、それを成した民族の資質を表わすものはないと信じていたからである」と。

そして塩野はローマの人々がインフラを「人間が人間らしい生活をおくるために必要な大事業」と考えていたと思ひ至



ローマのヴィルゴ水道

る。「ローマ人は、後世への記念碑を遺すつもりでこれらの事業を行ったのではなく、人間らしい生活をおくるために必要不可欠だったから行ったのだ。それが結果として、ローマ文明の偉大な記念碑になったにすぎない。私は、この考えにたどりついたときはじめて、いかに不十分な結果に終わろうとも、ローマのインフラの歩みを取りあげた一巻は書かねばならない、と思った」と執筆の動機を明らかにしている。

高度な技術・技能による給水

ローマ帝国におけるインフラのなかでも水道は特別の位置を占めていた。人間の命に直結するからだ。紀元前312年から3世紀にかけて高度な技術・技能を駆使した数多くの水道が整備された。

とりわけローマは水道の最大の集積地であり、約500年かけて11の水道が築造された。このうちローマ帝国の滅亡と共に使われなくなったヴィルゴ水道は約1000年後のルネサンス期に再建され



ヴィルゴ水道の終端にあるトレヴィの泉

た。その一部は現在も稼働しており、世界中の観光客が押し寄せるトレヴィの泉などに給水されている。

ローマ市街地の水道の全長は約350kmで大半は地下を流れていた。地下に設けることで動物の混入などによる疫病を避け、外敵の襲撃から守っていた。重力と傾斜を利用した精巧な自然流下方式で非常に効率よく大量の水を運んでいた。水量は1日約100万 m^3 、1人あたり約1000 l に及んでいる。

管路に加えて水道施設は地上の導水渠を搭載した連続アーチ構造の水道橋、不純物を沈殿除去する沈殿池、末端の分水施設などで構成されていた。現在も多く場所に遺跡が残っており、最長の管路は2世紀にカルタゴ、現在のチュニジアで建造されたハドリアヌス水道で約141kmに達している。水道橋ではフランス南部に設置され、ユネスコ＝国連教育科学文化機関の世界遺産に登録されたポン・デュ・ガールが有名だ。古代ローマ時代の6水道が交錯し、水道橋の遺跡が残るローマ南東郊外アッピア街道州立公園の



南フランスの世界遺産水道橋ポン・デュ・ガール



水道橋公園のクラウディア水道の遺跡

一区画はローマ水道橋公園と名づけられている。

水道施設の資材には石、コンクリート、レンガなどが使われていた。コンクリートは古代ローマで発明され、ローマン・コンクリートと呼ばれていた。水密性を高めるために導水渠の内面などに水硬性セメントが使用されている。

市街地の分水施設に到達した水は陶管、鉛管、青銅管などを通して公衆浴場、富裕層の邸宅、庶民が利用する噴水などに配水されていた。水道水に溶出する鉛が有害であることはすでに知られていた。それでも陶管に比べて曲げやすい鉛

管が末端の給水管に使われることも多かった。これが鉛中毒の要因になったとも伝えられている。

続々と整備された給水システムの維持・管理・改革に腐心したのがセクストウス・ユリウス・フロンティヌスだ。ローマの水道長官を務めたフロンティヌスによる文献『水道書』は当時の水道行政に関する貴重な記録となっている。

国境を超えた平和と安全保障を

栄華を極めたローマ帝国は395年、東と西に分裂し、476年に西ローマ帝国、1453年に東ローマ帝国が滅亡して終焉した。かつて100万人以上を誇った最盛期の首都ローマの人口は中世に激減し、水道施設も大半が風化していく。だが古代文明の歴史的遺産としての水道は一部の都市で引き継がれ、実に2000年以上も命の水を送り届けている。

インフラ編の「あとがき」で塩野は古代ローマの「統治者の責務は、被統治者に安全と食を保障することにあると考えられていた。『食』は『職』の保障である。そして『食』であろうと『職』としようと、その保障は『安全』が保障されてはじめて実現する。それゆえに、人間の生活にとって最も重要なことは、古今東西ひとつの例外もなく、安全保障（セクリタス）なのであった。現代でも、戦乱のつづく地帯に住む人々の苦しみを見れば、このことを納得してもらえらる

う」と述べている。国境を超えた人間の生活の安全保障こそ統治者の普遍的な責務にはかならない。

安全保障の不可欠の基盤となるのがインフラの整備だ。「現代でも、先進国ならば道路も鉄道も完備しているので、われわれはインフラの重要性を忘れて暮らしつづける。だが他の国々ではそこまでは期待できないので、かえってインフラの重要さを思い知らされる。水も、世界中ではいまだに多くの人々が充分に与えられていないのが現状だ」と塩野は諸国間の格差を憂慮する。なぜ命の水が世界中の人々に充分に与えられていないのか。その原因として「平和（パクス）の継続が保証されないからであろうか」と鋭く問いかけている。

平和な社会でなければ命の水を送り届けることはできない。古代ローマの水道は先人たちの叡智の結晶といってもいいだろう。水道は人間が人間らしく生きるために誕生した。

（次号・第9回に続く）



贖いの日々・・・

未必の故意

皆さんはこの言葉を御存じでしょうか。

『未必の故意』、辞書で調べると「意図的ではないが、こうしたら悪いことになるのではないかと思いつきながら、あえてそうすること」と書いてありました。車を運転するほとんどの人が使い方を間違えたり、ルールを守らなかったりすると、車が凶器に変わることを毎日報道される凄惨な事故のニュースを見て御存じだと思えます。私も車が凶器に変わってしまふことを知る一人でした。

私の場合は取引先に欠品していた商品を届けに行く途中で、速度超過と居眠り運転による前方不注意で前を走る帰宅途中の軽乗用車に追突し、2名の方の大切な命とそこご家族の未来まで奪い、取り返しのない重大な事件を起こしてしまいました。

事件前日、録画していた番組を観て、いつもより1時間ほど夜更かしをしてしまいました。当日はいつも通り会社へ出勤し、デスクワークをしていると上司が電話をしていました。電話を切った後に事情を聞くと、取引先へ送った商品が1つだけ欠品をしており、どうしても今日中に届けて欲しいという内容でした。話を聞いた私は、納品先の地理に明るかったのと気分転換を兼ねて自ら配達を申し出ました。この後、大変な事件を起こしてしまふとは、この時全く予想すらしませんでした。片道約250kmは決して近い距離とは言えませんが、翌日から出張を控えていたのですが、早く帰って早く帰れば今日の仕事は終わり、退屈なデスクワークをしなくて済むと安易に考えていました。その日は晴れて天気も良

く、ちょっとした旅行気分でした。会社を出て順調に高速道路を走行していると、少し眠くなりました。眠くなるのは、いつもの事だとそのまま運転をしていると、更に眠気が強くなりました。そこで、次のパーキングエリアで昼食を兼ねて休憩を取ろうと思ったあたりから事件を起こす直前までの記憶がありません。気が付いた時にはトンネルの中で目の前に軽乗用車のナンバープレートが目と鼻の先に見えました。急いでブレーキを踏みましたが間に合わず、真後ろから追突し、その直後、前の車はすでに炎上していました。自分も死んだと思いましたが、幸い手も足も動いたので、炎上している軽乗用車の運転席側のドアノブを引いて救助を試みたものの開かず、火の勢いが強いので非難を余儀なくされました。その後は救急、消防、警察、会社等と慌しく連絡をし、気付いた時には警察署でした。炎上していた車の中には2名の方が乗っており、亡くなっているだろうと伝えられました。その時、自分の人生は終わったと思いました。連絡をした私の母親は半狂乱でした。

事件から約1ヶ月後、警察から連絡があり、病院から帰宅途中だった親子の命を奪ったことを伝えられました。事件の状況が酷く、ご遺族の方の了承もなかなか得られず、このタイミングになったと警察の方から言われました。すぐにご遺族の方々に電話で謝罪をしたのち、お会いして改めて謝罪をさせて頂きたい旨をお伝えしましたが、「今はそんな気分になれない」と断られました。何度か謝罪文を送り、電話をかけ、謝罪に伺いたいと申し出ましたが、全て断られてしまいました。

事件からちょうど1年が過ぎようという頃に刑事裁判が始まり、自動車運転過失致死罪で禁錮3年8月の刑が言い渡されました。裁判の際にご遺族の方から「あなただけ死ねばよかったのに。」と言われ、ショックと共に本当にそうだと思いました。私の起こした過去の事件についてもご遺族の方から言及されました。「信号待ちでウトウトして前の車につけて人身事故を起こしておきながら、また運転するなど信じられない。」と強い口調で言われました。

今思えば、今回の事件に至るまでにいくつもの予兆がありました。その度に自分は大丈夫などと自分勝手な思い込みで普段から制限速度を超過して運転する、少しの眠気ならいづものことなので大丈夫という慢心から、今回の悲惨な事件を起こしてしまいました。このような行動をしていると、『未必の故意』と言われるのではない事件だと思います。自分だけは大丈夫。この考え方はとても危険です。これ以上被害者も加害者も出さない社会にする為には、「自分だけは大丈夫」という考え方はやめるべきです。これからは、この行動は本当に大丈夫か、と自問自答していきます。私は未だに被害者のご遺族の方々に会いして謝罪ができていません。今後の生涯を通じて償いの在り方を模索していきます。そして、ご遺族の方々に会いして謝罪できた時が私の本当の償いの始まりなのです。

組 合 通 信

- 8-16号 7月15日 工事費内訳書への記載事項の追加について
- 8-17号 7月24日 節水への協力について(御礼)
- 8-18号 7月24日 令和8年度指定給水装置工事事業者の定期講習会の開催について
- 8-19号 9月 1日 排水設備審査業務受託に伴う業務変更のお知らせ
- 8-20号 9月 1日 2027年版「全管連手帳」申込みについて
- 8-21号 9月 4日 資材中間決算棚卸のお知らせ
- 8-22号 9月 9日 福岡市水道技術研修所の有償使用について
- 8-23号 9月11日 第11回福管協ボウリング大会の開催について(ご案内)
- 8-24号 9月14日 令和8年度(後期)技能検定受検案内について

組 合 の う ご き

- 8月 4日 下水道推進委員会が組合会議室で開催された。
- 8月18日 mirai@採択式が福岡市本庁で開催され、藤理事長が出席した。
- 8月19日 津山税理士による会計精査
- 8月26日 第11回定例理事会が組合会議室で開催
- 8月27日 令和8年熊本地震災害義援金贈呈式が福岡市役所で開催され、藤理事長、松尾副理事長、岩下副理事長、大久保総務部長理事、松本上水道部長理事、川浪事業部長理事が出席した。
- 8月27日 排水設備審査業務委託入札が福岡市役所で行われ、江頭専務理事が出席した。
- 9月 1日 排水設備審査業務受託の御礼に福岡市役所へ、藤理事長が伺った。
- 9月 7日 全管連令和8年度神奈川全国大会がパシフィコ横浜で開催され、藤理事長、岩下副理事長、大久保総務部長理事、川浪事業部長理事が出席した。